

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	後志	学校名	寿都町立寿都小学校			校長名	前田 敦子	
氏名	千葉 慎也	職名	教諭	年齢	30歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		学力向上に向けた授業改善の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、1単位時間の学習の流れを明確にした板書指導案を作成・活用した教育実践に取り組み、校内の授業づくりの充実に尽力するとともに、研究部長として校内研修を推進する中で、児童の興味・関心を高める問題及び課題の設定など、日常の教育実践のポイントを積極的に発信し、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和4年度学力向上推進事業の第2回組織力強化会議において、自校の学力向上ロードマップを活用した組織的な授業改善の取組について実践発表を行うなど、管内の学力向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、自校の全学年の算数科の単元計画を作成し、校務共有フォルダで蓄積・共有することで、成果と課題のつながりを明確化し、働き方改革にもつながる持続可能な研修の取組を推進させるなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和3年度 初任者段階教員研修（道教委計画研修・4年次） 講師 寿都町立寿都小学校実践発表会 実践発表</p> <p>令和3年度・令和4年度 後志教育研修センター「研修講座学級経営」 講師</p> <p>令和4年度 後志管内第2回組織力強化会議 実践発表 後志管内教育実践表彰 受賞</p> <p>令和4年度・令和5年度 後志教育研修センター所員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	上川	学校名	上富良野町立上富良野小学校			校長名	豊田 央	
氏名	藤井 司	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	6年	
教育実践のタイトル		算数科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、児童に寄り添った学級経営を基盤として、ICTを活用した授業づくりに取り組むとともに、校内研修等において積極的に授業を公開し、算数科を初めとした様々な教科において、ICTを活用した児童の考えや意見の交流方法について提案するなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、「上川管内教育研究会南部地区研究大会」において、数学的活動の充実や数学的に問題発見・解決する過程を重視した授業を公開するなど、管内の教員の授業力向上に向けた取組は他の模範となっており、算数教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、上川管内教育研究会、上富良野町教育研究会と連携を図り、自校の教員に対して授業づくりに対する助言や相談を行うなど、自校の算数教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、令和5年度の教科用図書調査員（小学校算数）を務めるなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和4年度 上川管内教育研究会南部地区研究大会 授業者</p> <p>令和5年度 北海道教科用図書選定審議会調査員（小学校算数） 上川管内教育研究会 南部地区算数・数学班班長 上富良野町教育研究会 授業者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	釧路	学校名	釧路市立城山小学校			校長名	長谷川 郁 夫	
氏名	兒 玉 千 里	職 名	教諭	年 齢	32 歳	教職員経験年数	9 年	
教育実践のタイトル		道徳教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>小学校教諭として、優れた授業実践と学級経営を行い、児童が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、研修部長として道徳科の授業改善における中心的な役割を担い、指導観の明確化と指導方法の工夫に重点を置き、主題に迫る発問や、板書、思考の広がりや深まりを生む交流活動の在り方について追求し、その成果を体系的にまとめるなど、道徳科における学校全体で共通理解を図った授業改善に貢献している。</p> <p>また、日頃から確かな教材研究に基づき、児童の実態に合わせた柔軟な単元計画を立て、優れた授業実践を行っており、ICT機器を取り入れ、児童の学習内容や課題について集約し、共有できる仕組みを確立することで児童の学習意欲を喚起する効果的な取組を行うほか、自校で取り組んでいる「家庭学習カード」を活用し、学習の計画や成果の視覚化を図るなど、授業と連動した家庭学習指導により、児童が自ら進んで学ぶ力を身に付けることを目指す指導実践を行い、成果を上げている。</p>							
業績	<p>平成28年度 弟子屈町研究指定 弟子屈町立川湯小学校公開研究会 授業者</p> <p>平成29年度 釧路市センター研修講座「へき地複式教育」 授業者</p> <p>平成30年度 弟子屈町教育研究所 事務局長</p> <p>令和元年度 北海道国語教育研究大会札幌大会 分科会発表者</p> <p>令和3年度 釧路市研究指定 釧路市立城山小学校公開研究会 全体発表・研究紀要作成</p> <p>令和4年度 北海道国語教育研究大会釧路大会 授業者</p> <p>令和5年度 釧路教育研究センター 子ども支援研究委員 釧路市教科用図書調査委員会 委員（外国語）</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	函館市立椴法華中学校			校長名	堀切川 治	
氏名	棒 手 優 美	職 名	栄養教諭	年 齢	31 歳	教職員経験年数	9 年	
教育実践のタイトル		食に関する教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>栄養教諭として、食に関する指導の実践及び指導の充実に尽力するとともに、学校での食育を推進する中で、各地域の地場産物を活用した献立の立案等、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、食品ロス削減のためにできることは何かを考え、実践する子どもを育てるため、食品ロス削減を目的とした学校給食の献立立案の取組において中心的な役割を果たし、学校給食を生きた教材として活用する取組は他の模範となっており、本道の食育教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、バケツ栽培により収穫した米や地元産の鮭を使用した調理実習といった、家庭科などの他教科の教員との連携による食育指導の充実にも中核的な役割を果たすとともに、市の昆布の生産者とともに大阪府の小学校に出前授業を行い、居住地域と生活のつながりについてICTを活用した講話を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>平成30年度 北海道栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会 実践発表</p> <p>令和元年度 北海道学校給食コンクール 最優秀賞 受賞</p> <p>令和2年度 函館市立学校教職員表彰 受賞</p> <p>令和3年度 渡島管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	更別村立更別中央中学校			校長名	島村 雅樹	
氏名	児玉 和宗	職名	教諭	年齢	30歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		外国語科教育の充実に向けた取組						
教育活動	<p>中学校教諭として、外国語科の授業改善に取り組み、学校力の向上に尽力するとともに、生徒の英語による表現力の向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、令和4年度には、E-Lineセミナーの中核教員として、更別村内の小・中学校の外国語教育における連携の中心となり、児童生徒の発達の段階に応じた5つの領域の目標を設定した小中連携型CAN-DOリストの作成や、小学生と中学生が英語を通して交流する活動を実践するなど、外国語教育における小学校と中学校の円滑な接続に取り組んでいる。</p> <p>また、主体的に学ぶ姿勢やコミュニケーション能力の育成を目標に、単元の目標を生徒と共有するとともに、目的や場面、状況、身に付けた知識及び技能を活用して、自分の考えや伝えたいことなどを適切に表現することができるよう、単元デザインの充実を図った授業実践の展開を通し、自校生徒の英語力の向上に成果を上げている。</p>							
業績	<p>平成28年度 帯広教育研究所外国語部会 授業公開</p> <p>令和4年度 更別村教育研究大会 授業公開</p> <p>北海道教育委員会「E-Lineセミナー」 中核教員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	七飯町立大沼岳陽学校			校長名	大橋 宏朗	
氏名	住吉 太一	職名	教諭	年齢	25歳	教職員経験年数	3年	
教育実践のタイトル		ICTを活用した体育科の授業実践の取組						
教育活動	<p>採用以来、主体的・協働的・深い学びを軸とした授業改善に取り組み、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の育成の充実に尽力するとともに、日常的な体育授業における教育実践を推進する中で、ICTを効果的に取り入れた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>渡島体育研究集会では、3、4年生の「器械運動」の単元において、子どもが「運動に親しめた・がんばれた・共に成長した」と思える学習を目標とした研究授業を実施し、子どもが自己の課題を解決する場面の設定や、他者との関わりを促進する環境を整えるとともに、1人1台端末を活用した、学習資料としての技カードや動画等による振り返り場面の充実を図る取組により、児童が試行錯誤しながら運動課題の解決を図る姿が見られるなど、こうした実践は他の模範となっており、管内の体育教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、渡島体育研究会や渡島教育局と連携を図った初任層の教員に対する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、自身の授業実践に基づいた研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度 北海道教育委員会「採用前ガイダンス」 講師</p> <p>令和3年度 七飯町教育研究会 保体部会 授業実践発表者</p> <p>令和4年度 渡島体育研究集会 授業者</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	渡島	学校名	北海道森高等学校			校長名	佐 紺 撰 子	
氏名	菅 野 真 文	職名	教諭	年齢	27歳	教職員経験年数	5年	
教育実践のタイトル		ICTを活用した教育活動の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、所属校の学校教育におけるICT環境の整備や、利活用体制の構築などの業務を担う「ICT活用検討委員会」において委員長を務め、特に、生徒の学習におけるタブレットPCの利活用や、遠隔授業システムの整備などを推進し、オンラインによる授業評価システムの構築や、不登校生徒の自宅と教室をオンラインでつなぎ同時双方向の遠隔配信による教育保障を可能にするなど、自校のICT環境の整備推進に貢献している。</p> <p>また、自身の担当教科である地理歴史・公民におけるICTを活用した授業実践や授業研究にも積極的に取り組み、授業の振り返りや、話し合い活動において「Google Classroom」や「Google Jamboard」を活用し、生徒が主体的に取り組むことのできる学習課題の工夫や、授業に参加しやすい環境づくりなどで成果を上げた。</p> <p>さらに、こうした取組が評価され、令和4年度には北海道教育庁ICT教育推進課の視察を受け、そのときの授業の様子がICT教育推進課ホームページに「授業実践事例」として掲載されるなど、道内におけるICTを活用した学習の普及・発展に貢献している。</p>							
業績	令和4年度 渡島管内教育実践表彰 受賞							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	上川	学校名	北海道剣淵高等学校			校長名	齋 藤 克 幸	
氏名	三 浦 学	職名	教諭	年齢	36歳	教職員経験年数	9年	
教育実践のタイトル		学校の魅力化・特色化に向けた教育課程の改善とICTを活用した教育活動の実践の取組						
教育活動	<p>令和3年度から教務主任を務め、総合学科としての学校の魅力化・特色化に向けた教育課程の改善を行うとともに、ICTを活用した教育活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和4年度に普通科の科目を中心として編成した「未来の進路系列」の開設に当たって、校内及び地域の合意を得るための取組において、計画の立案や内容の検討を行う中心的な役割を担うなど、ミドルリーダーとしての職責を果たしている。</p> <p>また、保健体育科の授業において、映像の再生遅延装置を活用し、自身の動作を即時に確認できる仕組みの構築や、体育的行事の進行表や結果表示のクラウド化など、ICTを活用した授業改善等にも積極的に取り組み、個別最適な学びの実現に向け、効果的な授業実践を行っている。さらに、名寄市内の教員研修において、体育指導の理論と授業における指導方法について講師を務めるなど、教員の資質能力の向上に貢献している。</p>							
業績	<p>令和3年度 名寄市教育研究所 体育・保健体育班実技研修 講師</p> <p>令和4年度 上川管内教育実践表彰 受賞</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	宗谷	学校名	北海道枝幸高等学校			校長名	辻 芳 恵	
氏名	佐藤 優樹	職名	教諭	年齢	35歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		地域と連携した生徒の資質・能力を育成する取組やICTを有効に活用した授業改善の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、異校種教職員に向けた実践発表等を通して、地域における学校の課題の共有や改善に向けた取組を発信するなど、小中高を通じた地域の児童生徒の資質・能力の育成を推進している。</p> <p>特に、「エビデンスに基づく資質・能力育成事業」の実践校として、町内の中学校と連携した学習調査等の結果の分析やヒアリングを踏まえた校内研修や授業改善に取り組み、宗谷管内EBE協議会において実践発表を行うなど、管内の学力向上の取組に貢献した。また、自校の教務主任として、学校が協働的、組織的に地域と連携し、生徒の資質・能力を育成する「えさし研究」を軸とした、総合的な探究の時間の充実を図るとともに、対話を多く取り入れた校内研修の充実にも努めるなど、より良い教育課程の実施に向けて尽力している。</p> <p>その他にも、町と連携してICT設備を導入する準備から導入後における体制の整備において中心的な役割を担い、校内のICT環境の整備、運用に尽力した。加えて、管内の高等学校や町内の異校種教職員に対し、ICTを活用した授業改善事例を発信するなど、地域の教育力の向上に貢献している。</p>							
業績	<p>令和3年度 宗谷管内高等学校教育研究会教務部会研究協議会 実践発表 枝幸町教育委員会研修会 講師 枝幸町小中学校ICT教育研究会 講師 北海道教育委員会「ICTを活用した学びのDX事業」研究協議会 研究発表</p> <p>令和5年度 北海道教育委員会「エビデンスに基づく資質・能力育成事業」宗谷管内EBE協議会 実践発表</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	オホーツク	学校名	北海道雄武高等学校			校長名	千葉 哲也	
氏名	澤井 愛里	職名	教諭	年齢	29歳	教職員経験年数	5年	
教育実践のタイトル		地域と連携した授業実践の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、自校のキャリア教育の全体計画の体系化及び学内外の進路相談会や進路ガイダンスの企画と運営を進めている。</p> <p>特に、オホーツク地域の「高校生向け出前型ワークショップ」では、ファシリテーターとして、多種多様な業種の職業人と連携して、生徒の多様な職業観を育成し、地元で仕事をする事の大切さを学ぶ活動を行った。また、総合的な探究の時間では、校内委員会の発足から中心として活躍し、地域の要望により官・学・民が協働する「特産品開発プロジェクト」を立ち上げ、コーディネーターとして地域人材を活用し、外部講師の招へいや、商品開発の際に必要な教科横断的な取組の調整役として、常に自校をリードしている。</p> <p>その他にも、同僚に適切なアドバイスを与えることができ、若手教員の良い手本となり、ミドルリーダーとして学校運営にも積極的に参画するなど、自校における教育活動の推進に大きく貢献している。</p>							
業績	<p>令和4年度 オホーツク管内教育実践表彰 受賞 オホーツク総合振興局・北海道雄武高等学校共催「高校生向け出前型ワークショップ」 ファシリテーター</p> <p>令和5年度 北海道高等学校進路協議会 理事</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	十勝	学校名	北海道芽室高等学校			校長名	俵 英 生	
氏名	つば ぐり ほん	職名	教諭	年齢	31歳	教職員経験年数	7年	
教育実践のタイトル		国語科教育における指導と評価の一体化の推進に向けた取組						
教育活動	<p>国語科教諭として、教科の実践的指導力と教育的愛情を兼ね備え、探究的な学びを通して、生徒一人一人の可能生を引き出すことができるよう指導と評価の工夫改善に努め、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、授業中の言語活動の中で、他者と関わり合いながら自分の考えを伝え合う活動を重視しており、社会生活に必要な国語力やコミュニケーション能力の育成に尽力しているほか、令和4年度授業研究セミナー（道東ブロック・国語）では授業者として、「話すこと・聞くこと」の領域において、ICTを活用した相互評価や振り返りを行う中で、他者の思考や表現方法を踏まえた生徒自身の表現力の深化や向上につながる実践を発表することを通じて、指導と評価の一体化に向けた工夫改善の成果を普及し、管内の国語科教育の推進に貢献するなど、大きな成果を上げている。</p>							
業績	令和4年度 北海道教育委員会「S-T EAM教育推進事業」令和4年度授業研究セミナー授業者							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	釧路	学校名	北海道釧路明輝高等学校			校長名	三 浦 治 彦	
氏名	せき ぐ ぞみ	職名	教諭	年齢	29歳	教職員経験年数	7年	
教育実践のタイトル		地理歴史・公民科教育の指導充実の取組						
教育活動	<p>高等学校教諭として、地理歴史・公民科教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、文部科学省指定事業である「人権教育研究推進事業」の取組として、学校設定科目「アイヌ学」において、地域人材の協力を得て、地域の遺跡を巡るフィールドワークなどの地域と連携した取組を推進したほか、「アイヌ学」と「国際理解教育」を関連付けた、多文化共生や人権教育を意識した取組を通して、多様性を理解し、持続可能な社会への貢献の視点へと生徒の思考を深める教育活動を行い、そうした実践内容が、文部科学省のホームページに事業報告書として掲載されるなど、本道の教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、校内の地歴公民科の中心となり、授業におけるタブレット端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組として、1人1台端末を活用した授業の理解度及び達成度の確認や、成績処理において統計処理を活用して指導と生徒の理解や活用能力の相関関係を分析し、次年度の指導につなげる取組など、ICTを活用した教科指導の実践は他の模範となっている。</p>							
業績	<p>平成30年度 後志管内地歴公民科教科研究協議会 地域巡検コーディネーター</p> <p>令和3年度 文部科学省指定事業「人権教育研究推進事業」 担当</p> <p>令和4年度 北海道教育委員会「S-T EAM」推進プロジェクト探究学習推進事業授業研究セミナー道東ブロック（地理歴史・公民）授業者研究チーム 協力員</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在

令和5年度北海道教育実践表彰推薦概要（若手教職員等奨励賞）

管内	留萌	学校名	北海道小平高等養護学校			校長名	齋藤利文	
氏名	おおくぼ じょう たく	職名	教諭	年齢	32歳	教職員経験年数	8年	
教育実践のタイトル		地域支援の充実と特別支援教育への助言の取組						
教育活動	<p>特別支援教育コーディネーターとして、関係機関等との連携や特別な支援を要する生徒及び保護者に対する支援に取り組むとともに、専門的知見を生かし、校内及び管内の特別支援教育の充実に尽力している。</p> <p>特に、パートナーティーチャー派遣事業においては、管内の各学校を訪問し、児童生徒の実態を把握した上で、障がいの種類や特性に応じた適切かつ具体的な学習支援・生活支援の在り方について、研修を通じて教員に具体的に助言するなど、管内の特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、管内の自立支援協議会・療育部会と連携を図り、障がい者の社会的自立と支援に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、様々な協議会や研修を通じて研究成果の提言を行うなど、その実践は高く評価されている。</p>							
業績	<p>令和2年度～令和5年度 留萌教育局管内専門家チーム 委員</p> <p>令和3年度 留萌管内高等学校養護教諭研究協議会兼北海道苫前商業高等学校校内研修会 講師 北海道遠別農業高等学校第3回校内研修会 講師</p> <p>令和4年度 障がい者の生涯学習推進研究協議会（小平町） 講師・助言者 留萌市立留萌小学校特別支援研修会 講師 北海道苫前商業高等学校校内研修会 講師 留萌南部地域幼児療育推進協議会療育部会講演 講師・助言者 特定非営利活動法人ウェルアナザーデザイン主催セミナー（職員研修） 講師</p> <p>令和5年度 令和5年度（2023年度）第1回放課後活動推進協議会（道北会場） （北海道教育委員会・北海道） 講師</p>							

※ 年齢及び教職員経験年数は令和5年（2023年）4月1日現在